2022 年度（令和 4 年度）

社会福祉法人星座会　星座保育園の総合評価

※令和 4 年年度の本園の保育・教育全般のふり返を 14 名の保育士（常勤・非常勤・パート勤務含）園長・副園長・主任保育士の自己評価を基に総合的に評価している。（※設問によっては回答数が異なる場合がある）

※『評価基準』として、: **A かなりできている：B ほぼできている：C あまりできていない：D ほとんどできていない　の 4 段階で評価している。**

1 章　総則	A	B	C	D	意見・改善策
1、保育園は、入所している子どもの最善の利益を考慮し、心身ともに健やかに育てる責任があることを理解していますか。	10	4			
2、保育の目標に基づいて保育をおこなっていますか。	2	12			
3、子ども一人ひとりの人格を尊重した保育をおこなうとともに保育士自らの人間性や専門性の向上に努め、豊かな感性と愛情をもって保育をしていますか。	3	10	1		

2 章　子どもの発達	A	B	C	D	
1、乳幼児期は、生涯にわたる「生きる力の基礎」が培われる時期であることを理解して保育していますか。	8	5			＊ＢとＣの間で判断が難しい１名
2、子どもの発達は、豊かな心情・意欲・態度を身につけ、新たな能力を獲得していく過程であることを理解していますか。	8	6			
3、子どもの「発達の特性」や「発達過程」を理解し、発達の連続性に配慮して保育をしていますか。	2	10	2		
4、子どもの性差や個人差に留意しながら固定的な生別役割分業意識を植え付けることのないように配慮し、いろいろな側面や価値観があることを踏まえた保育をしていますか。	4	8	2		

3 章　保育の内容	A	B	C	D	
1、保育の内容は、目標を具体化した「ねらい」とさらに具体化した「内容」から構成されていることを理解していますか。	2	9	3		
2、保育所保育は「養護」と「教育」が一体化となって展開されることに留意していますか。	3	9	2		
3、養護とは、子どもの生命の保持及び情緒の安定を図るために保育士が行う援助や関わりのことであり、教育は、子どもが健やかに成長しその活動が豊かに展開されるための発達の援助であることを理解していますか。	3	9	2		

（1）用語に関わるねらい・内容（生命の保持及び情緒の安定）	A	B	C	D	意見・改善策
４、朝の健康観察を丁寧におこない、一人一人の平常の健康状態や発育及び、発達状態を的確に把握していますか。	4	8	1		
５、子どもの特性や発達過程を踏まえ、常に清潔で安全・安心な保育環境を心掛けていますか。	2	11	1		
６、子どもとの温かなやりとりやスキンシップを常に心がけ、子どもの心の安定につなげていますか。	4	10			
７、保育士等の温かい受容的な雰囲気や関わりが、子どもの自信や自己肯定感を育むことを理解して保育していますか。	7	7			
８、「早くしましょう」など、せかす言葉を不必要に使わずその場や状況に合わせて一人ひとりの発達過程に合わせた柔軟な対応を心がけていますか。		10	4		＊月齢に合った声かけ、対応を心がけている
９、「だめ」「いけません」などの制止する言葉を不必要に用いないようにしていますか。また、子どもの気持ちを受け止め、共感することの大切さを忘れない保育をしていますか。	2	7	5		
（2）教育に関するねらいと内容					
１０、散歩や公園・園庭遊びなど戸外で遊ぶ機会を多く取り入れていますか。	6	5			
１１、保育士が率先して体を動かすなど、子どもがその楽しさを体験できるよう配慮していますか。	3	9	1		
１２、食事の前や排泄後の手洗いの励行など、清潔の習慣が身につくように援助していますか。	9	5			
１３、子どもが見通しをもって、意欲的に行動できるようにすると共に快適に生活するための約束事をわかりやすく伝える工夫をしていますか。	3	9	2		
１４、危険に気付いて行動できるよう、安全についての心構えや約束を日頃から職員間で話していますか。	3	8			
１５、躓きや葛藤、喧嘩などを子どもの育ち（発達）に欠かせないものとして捉え、適切な対応をしていますか。	1	12	1		
１６、困っている友だちのことを気にかけたり、心配したり、助けたりするなど、思いやりの心を育む保育を心掛けていますか。	3	8	1		

１７、保育士は、子どもにとって最も身近な人的環境であるとともに、保育士のすべての言動がこどもにとってのモデルになっていることを常に意識していますか。	4	8	2		
１８、順番や約束を守るなど、決まりを守ることの大切さを、園生活や遊びの中で、月齢に応じたわかりやすい言葉や態度で丁寧に知らせていますか。	6	6	2		
１９、子ども同士が力を合わせて目標に向かって取り組む姿や、協力して遊びを展開していく姿を十分に認め、その喜びや達成感が味わえるような活動を取り入れた保育をしていますか。		9	2		
２０、子ども同士が自分の思いを伝えあったり、相手の思いに気付けるように援助や助言を行っていますか。	3	11			
２１、身近な自然事象に触れ、子どもたちの「どうして？」「なぜ？」といった疑問に対して一緒に調べたり、考えたりしていますか。		9	3		
２２、身近な自然を通して、様々な発見や美しさや不思議さなどに気付くことができるような環境づくりをしていますか。		6	5		
２３、毎日の生活の中で、図形や数量、前後左右、遠近などの位置の違いや時間などについて関心が持てるような環境構成に配慮していますか。		9	5		
２４、信頼できる相手に伝えたい、わかってもらいたいという気持ちが発語を促すことを理解し、子どもの表情や姿を観察しながら、共感や、代弁など、その場に適した言葉がけや援助をしていますか。	2	11			
２５、普段から、子どもがわからないことを尋ねたり、自分の楽しい経験を話すなど、安心して自分の思いや意見を話せる雰囲気を作っていますか。	2	11			
２６、子どもが、絵本や物語の内容を楽しんだり共感したり、自分の経験を結びつけたりと、想像をめぐらせるような読み方を工夫していますか。	3	11			
２７、生活の中で、あいさつや返事、「ごめんなさい」「ありがとう」などの生活に必要な言葉を自然に使えるような保育をしていますか。	6	8			
２８、歌ったり踊ったり、体を動かしたりして音や動きの楽しさを味わい、心地よさを感じる機会を作っていますか。	9	5			
２９、様々な音、色、形、手触り、におい、味わいなど五感を刺激する活動を保育にとり入れていますか。	1	7	5		
３０、はさみなど、いろいろな道具の使い方を月齢に応じて、丁寧に教えたり、見守ったりしていますか。	1	6	3		
３１、自由に描いたり、作ったりできるように、材料や用具を子どもたちが取り出したり片づけたりできる場所に置く工夫をしていますか。		7	2	1	

（3）乳児保育	A	B	C	D	意見・改善策
１、室内の温度や湿度調整、換気チェックをしていますか。	3	6			
２、哺乳瓶の消毒、調乳、沐浴などの衛生面での基本的な事柄や子ども一人ひとりの健康状態などを、随時職員間で相互に確認し合っていますか。	4	6			
３、室内環境を整え、寝具類を清潔に保ち、おもちゃなどの消毒を定期的におこなっていますか。	1	9			
４、おむつ交換は、優しく声をかけながらおこなっていますか。	4	6			
５、授乳は抱いて目線を合わせたり、優しく声をかけながらゆったりとした気持ちでおこなっていますか。	4	6			
６、一人ひとりの生活リズムに合わせて睡眠がとれるように、環境を整えていますか。	3	6	1		
７、しぐさや声や動きを介して発する欲求を察知し、タイミングよく温かな応答的な関わりをしていますか。	3	6	1		
８、子どもを寝かせる時は、寝返りができるできないに関わらず、仰向けに寝かせると共に、睡眠チェックをおこない呼吸の確認をしていますか。	4	5	1		＊寝返りを打った時は、常に様子を見ることもある
９、離乳食に関しては、発達段階、個人差などに対応し、家庭と連携を取りながら、進めていますか。	2	5			
（４）未満児保育(1 歳以上 3 才未満児)					
１、基本的な生活習慣の習得については、1 人ひとりの発達過程に合わせ、無理なくおこなっていますか。	4	5			
２、楽しい雰囲気の中で、スプーンや箸などを使いながら自分で食べようとする気持ちを大切にしていますか。	4	4	1		
３、ゆったりとした気持ちで、オマルや便座に座り、排せつできるように促したり、配慮したりしていますか。	2	7			
４、着脱(衣服・靴下・靴など)に関しては、自分でしようとする気持ちを尊重していますか。	2	5	2		
５、子どもの身の回りにあるものの安全性について常に確認し、安心して好きな遊びに集中したり、繰り返して遊べる環境を整えていますか。	2	5	2		
6、十分な探索活動や全身を使う遊びができるように環境を整えていますか。	1	4	4		
７、自分でやり遂げる喜びを味わったり、自信につながるような働きかけをしていますか。	3	5	1		
８、子ども同士のトラブルの場面では、保育者は互いの気持ちを受け止め、代弁したり、共感したりする中で遊びを進められるようにしていますか。	2	6	1		

（５）特別な配慮や支援を必要とする子どもの保育					
１、障がいのある子どもや支援の必要な子どもの保育について、園全体で話し合い、共有できるようにしていますか。		8	2		
２、保護者と情報を共有し、療育、医療機関からの必要に応じた助言を保育に生かしていますか。		9	1		
３、支援の必要な子どもを理解し、その子なりのペースに合わせた活動支援をしていますか。	2	6	1	1	＊対応はしているが、人員の不足などもあり、その間に他の子たちを待たせてしまうことになる
4章　保育の計画及び評価					
１、保育園の全体的な計画（保育理念・保育目標・保育指針など）を理解していますか。	1	6	4		＊理解はしている
２、指導計画のねらいや内容を保護者にわかるように説明できますか。		6	3		
３、指導計画は必ず、保育園の全体計画に基づいて作成していますか。		6	2		
４、年間・月案等の長期的な指導計画と関連させ、子どもの生活に即した日案の指導計画を作成していますか。	1	3	2		
５、行事は、保育上の意義十分検討したうえで、月齢に合った内容が指導計画に組み込まれていますか。	2	5	1		
６、保育計画が、実際の子どもの姿、心情、意欲、態度に合っているのか、自身の保育を振り返り、反省、評価をしていますか。		7	1		
７、あなたの指導計画の反省・評価は次の指導計画作成に反映できるものとなっていますか。		6	1		
8、複数担任の場合、よく話し合ってお互いの考えを十分に理解した上で指導計画を立てていますか。		6	1		＊話し合いの上、担任が計画をまとめている
9、その日あった出来事や気になる子どもの様子などを、その子どもに関わる職員や申し送りなどで、共有していますか。	4	7	1		
5章　健康及び安全					
１、子どもの日々の健康状態を把握しながら、保育をおこなっていますか。	5	8			
２、身長・体重などの定期的な計測および、健康診断の結果を保護者に伝えていますか。	4	7	1		＊アプリでの確認をお願いしている
３、子どもが活動しやすいようにその都度、保育室の換気や温度湿度に配慮していますか。	5	8			

４、子どもが危険な場所や遊びがわかり、安全に遊ぶように指導していますか。	3	10			＊様子を見守り、危険と判断したら、声をかけている
５、不審者が侵入した場合に備え、子どもの安全を確保するための対応を日ごろから心掛け、職員間で話し合っていますか。	2	4	8		＊職員間で話をしているが具体的な活動が足りない
６、地震、火災などの災害に備え、積極的に避難訓練に参加し、非常災害時にあなたが何をしなければいけないか理解していますか。	3	10	1		
７、子どもが食事やおやつを楽しめるように、一人ひとりのペースを大切にし、落ち着いた雰囲気作りなどを工夫していますか。	2	9	2		
８、食育活動などを通して、自然の恵みとしての食材や、調理する人への感謝の気持ちが育つよう名働きかけを心がけていますか。	5	5	1		
９、食物アレルギーの子どもに対して、家庭と連携しながら除去食などの配慮をしていますか。また、誤食の予防対策として常にマニュアルに沿った対応をしていますか。	5	7			
10、あなたは、保護者が子育ての悩みや心配事などを安心して話せる存在になるように心がけていますか。	2	9	2		
11、あなたの保育に批判的な保護者に対しても、丁寧に意見や要求をうけとめようとしていますか。	3	9			
12、園の食育計画に基づいて、食育に関する取り組みを実践していますか。		8	1		
６保護者支援					
１、送迎の際に、保護者と必ず挨拶や言葉を交わすようにしていますか。	7	7			
２、保護者面談を行っていますか。（希望者のみ可）	3	6	1		
３、家庭との信頼関係が築けるような連絡ノートの記入をしていますか。	1	8	1		
４、保護者からの相談内容などを担任一人の問題にせず、園全体で受け止めようとしていますか。	1	12	1		
5、子どもの家庭状況は多様だという考えの上で、今その子に何が必要かを見極め、それぞれにとって適切な援助をしていますか。	1	9	1		
７章職員の資質向上					
１、職員会議などでは、子どもの最善の利益を尊重して発言していますか。	1	5	2		
２、園の内外における、研修、研究活動及び自己研鑽により、専門性を高める努力をしていますか。		7	5		＊リモートで対応する
３、自分の保育をふりかえり、問題点や課題を見つけることができますか。		13			
４、同僚のそれぞれの役割と、あなたが果たす役割を理解していますか。	2	10	1		
５、職員同士や保護者との信頼関係を深めるための努力をしていますか。	1	11	1		
６、あなたは、創意と工夫を惜しまず、喜びや意欲をもって保育をしていますか。		10	2		

＊その他					
１、毎日笑顔で子どもや保護者、同僚に接するように心がけていますか。	6	8			
２、子どもとよく遊び、一緒に楽しんでいますか。	6	8			
３、子どものこと、クラスの様子や出来事、保護者の様子など、適宜　園長や副園長、主任に報告、連絡、相談をしていますか。	6	7	1		
４、日頃から、虐待の早期発見を心がけ、虐待が疑われる場合には、園長に伝えるなどの防止策をおこなっていますか。	3	6	1		
５、子どもの発達に合った手作りおもちゃなど、創意工夫を惜しまず、保育に取り入れていますか。	1	6	5		
６、子どもの名前は、呼び捨てやニックネームなどでなく、きちんと名前で〇〇ちゃん〇〇くんと呼んでいますか。	2	5	7		＊前年度よりも意識が高まってきた
７、子どもの個人情報を適切に扱うとともに園内で知り得た事柄に対して守秘義務を尊守していますか。	8	4			
８、帳簿類は、適切に記載し、保管されていますか。	6	4			

⊡園全体の衛生管理について⊡(新型コロナウイルス感染対策として)

１，子どもたちが触れる場所や遊具や玩具、寝具類などを衛生的に管理していますか。また、室内の換気、定期的な清掃、消毒などをきちんと行っていますか。(新型コロナウイルス感染防止の為のできる限りの予防措置をおこなっているか)	5	8	1		
２，園内に入室する時にはマスク着用を必須とし、手指の消毒、検温をしていますか。また自身の健康管理を適切に行っていますか。	7	7			
３，子どもたちの食事やおやつの援助をするときには手指の消毒をおこない、手袋を着用するなどの配慮がなされていますか。	6	7	1		
４、職員は保育に携わる立場を自覚し、ウイルス感染を未然に防ぐために国や自治体の要請に沿った行動を心がけていますか。	8	6			

★総合評価・反省・今後の課題★

＊各項目別評価＊
1 章　総則…Ｂ
2 章　子どもの発達…知識としてはＡ実践ではＢ
3 章　保育の内容(乳児保育を含む)…Ｂ
4 章　保育の計画及び評価…Ｂ
5 章　健康及び安全…Ｂ
6 章　保護者支援…Ｂ
7 章　職員の資質向上…Ｂ
＊その他…Ｂ
＊園全体の衛生管理…Ｂ

＊保育園の総合評価…Ｂ

・全体的な評価は、どの項目内容も平均的にＢ評価が多かった。昨年、一昨年度と比較すると、総合的な評価はＢ評価であることに変わりがないが、各項目に対する改善策、意見などが多くあがっており、それらについて改めて考え、日々の保育にしっかりと向き合いながら、保育士 1 人ひとりが保育の質を上げていこうとする意欲を感じている。『不適切な保育』が様々な形でとり沙汰される中、再度一人ひとりが自分の保育をふり返り、問題点や改善点に気づいたことを職員全体の課題と捉え、話し合い、意識を高めていく必要があると考える。
今年度は、通常の自己評価と同時に『保育所における人権擁護に関するチェックリスト』を加えた。現在の自分自身の保育が「子どもの最善の利益」を考えたものになっているか、「子どもの人権に配慮した保育」になっているかという点について考え、確認をするために自己評価のひとつとして自己採点をおこなった。普段何気なく使っている言葉や行動の中にも、子どもの人権を侵していることになるものがあると気付かされ、自園の保育との比較、関わり方や対応のポイントなどを参考にして、職員全体の質の向上を見つめなおすよいきっかけとなった。

〈自己評価後の職員からの意見・課題・改善策など〉
・子どもの人権擁護について再認識するようになった。普段から、言動に気をつけて、職員間で連携図りながら、保育をおこなっていくことが大切だと思う。
・評価基準について、現在の 4 段階の評価では、回答に悩む項目があった。評価のＢとＣの間にワンクッションおいて、5 段階評価でもよいのではないか。
＊以上の意見について項目内容と表記について再検討をし、改善を図る。

令和４年度星座保育園自己評価表（園長・副園長・主任用）

『評価基準』Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄの４段階です
Ａ:大変良い　　Ｂ:大体よいが更に良くできる（もう少し学びの必要あり）
Ｃ：検討を要する　Ｄ：改善を要する

1. 総則	評価
（１）保育所保育指針の趣旨や必要な法令に関して理解している。	A
（２）保育所保育指針が示す保育所の役割や保育の原理を理解し、保育をおこなっている。	A
（３）保育園の全体的な計画（保育理念・目標）を理解し、説明できる。	A
2. 子どもの発達	
（１）乳幼児期の発達の特性を理解している	A
（２）乳幼児の心身の発達段階を理解している。また、適切な援助をおこない、基本的な要求を受け止め、満足させることができる	A
（３）子どもの気持ちを理解し、信頼関係を築けるように日常的に心掛けている	A

3. 保育の内容	
（１）各年齢に応じた保育の目標を達成するために、ねらいや内容を具体的に立て保育を展開していることを理解している	A
（２）子どもが日々を過ごすための安全な環境整備や適切な衛生状態を維持し、具体的な保健対策を講じている。	A
（３）子どもたちの健康状態について把握し、基本的生活習慣や態度を身につけられるよう促しながら家庭との連携を図る。また、遊びや生活の中で満足感や充実感を味わえるような活動を通して、自己肯定感を高めていくことを目指した保育展開となるよう、臨機応変な助言や対応ができる。	A
（４）人との関わりの中で、ルールを守って活動する心地良さや、自分の意思を主張したり相手の意見を受け入れたりしながら、人はかけがえのない存在であることに気付かせるように導く努力をしている。	A

（５）身近な自然と触れ合う体験や場を設け、生命の尊さ、自然の不思議や偉大さに興味や関心を持ち、子どもたち自身の様々な発見や考察を大切に育む保育をおこなっている。	A
（６）様々な表現活動を通して、感動や発見ができる環境を整えたり、歌ったり踊ったり、楽器を弾く楽しさを味わい自己表現ができる場や機会を設けている。	A
（７）職員の連携体制の下に、気になる子や援助の必要な子、障がいを持つ子の特性などを把握し、保護者の思いなどもしっかりと受け止めながら理解しようと努めて援助している。	A
4. 保育の計画及び評価	
（１）各クラスの計画を立て予測することによる実践を経て評価し、次の計画へという流れを基本に置いて、柔軟な計画作成を提案・助言をおこなう	B
（２）保育内容を評価・反省し課題を見出した内容に適切なアドバイスをおこなっている。	B
5. 健康及び安全･食育	
（１）保育所をとりまく環境及び、一人ひとりの子どもたちの状態を把握し、臨機応変に対応しつつ子どもへの適切な指導ができる	A
（２）子どもの事故及び救急・救命処置ができる。また、緊急の際の適切な対応ができる	A
（３）避難訓練や防災訓練、水害訓練などの実施、不審者対応マニュアルを作成し、定期的に訓練をおこなっている。	B
（４）基本的なアレルギーの種類や特質について理解し、アレルギーの子どもの援助ができる	A
（５）体と食物の関係・栄養について基礎知識を持ち、個人差を考慮した上で、できるだけ好き嫌いをなく食べられるような援助をおこなう。また、食育活動での栽培や収穫、又はクッキング等の経験を通して食への興味や関心が持てるよう配慮していく。食事の基本的なマナーを伝えていく。	B
6．保護者支援・子育て支援	
（１）保護者との信頼関係を築き、日常的な情報交換を始め、個別に面談などをおこなっている	A
（２）虐待について早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長に届く体制になっており、問題解決のための手立てを講じたり関係機関との連携を図り有効な対応ができる	A
（３）保護者の人権・プライバシー守秘義務について理解でき、保護者への簡単なカウンセリングや子育てアドバイスができる	A
（４）園の子育て事業の理解説明ができ、地域の子育て支援のニーズを把握している	A
（５）時間預かりや一時保育を受け入れ子育て支援の推進に努める ※状況により、受け入れを休止する場合もある	休止

7. 職員の資質向上	
（１）社会人として一般常識を持ち、身だしなみ等に注意し来客対応等を行う。また、職員に対しても指導を行い、自己の健康管理を促す。	B
（２）保育士という職種を意識し、園の信用を無くすような行為・発言はしない	A
（３）公平に人の話を聞き、正確に伝達できる	A
（４）自分の職務に積極的に取りくみ、担当以外の業務にも進んで参加し、協力体制を維持することができ、自己研鑽をつむことができる	A
（５）職員間での協調性・信頼関係があり、後輩育成のための適切な助言やフォローができる	B
（６）他人の心情・立場を理解し、ものごとを判断し援助することができる	A
（７）保育の質の向上や改善のための取り組みを、職員参加によりおこなっている	B
（８）職員の研修ニーズを把握し、職員に適切な研修機会を確保している	A
（９）実習生を受け入れるにあたり、その意義や方針を全職員に説明し、理解を求める。また、実習内容の調整もおこなう。	A

8. 地域住民や小学校・関係機関・団体との連携・子育て支援について	
（１）子どもの健康状態について、園嘱託医による年に２回の健康診断や歯科検診を実施し、相談や連携ができる体制になっている	A
（２）小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会を設け、定期的に職員間の話し合いの場などで連携の機会を持つ。また、中学生や高校生の職場体験を受け入れ、子どもたちとの交流の場をつくる	A
⑶地域の方々とのコミュニケーションをとりながら、地域と園とで共に子どもたちの育ちを見守る環境づくりをしている	B
（４）地域の行事に参加したり、文化に触れる機会を設ける。	C

9. 運営管理	
（１）保育所の保育理念及び基本方針が明文化されている	A
（２）守秘義務の遵守を周知している	A
（３）保護者への情報提供に当たっては、わかりやすく正確に伝える工夫をしている。また、保護者からのご意見・苦情などは常時受け付け、迅速な対応をしている	A

（４）帳簿類は適切に記載され、管理、・保管は、徹底されている。	A
（５）事故や災害に適応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている （６）施設内外の安全点検をマニュアルに沿って計画し、改善個所については早急に対処する。 A	A
（７）遊具・用具等を活用しやすいように、整理・保管している。また、施設内外の点検や、園庭の環境整備を定期的に行い、子どもたちが安全に遊べる環境づくりに配慮している。	A
（８）毎月１回の職員会議、食育会議を実施する(必要に応じて随時実施することもある)ヒヤリハットを活用しながら、危機管理の見直しやリスクマネジメントについて話し合い全職員で保育環境の改善に取り組む。	A
（９）園だより・その他の情報・伝達事項などは、アプリ内で管理され、配信している。また、必要に応じて園内掲示もしている。	A
(10)外部評価として、第三者評価を導入し、施設運営に反映している。	C
＊園全体の衛生管理について(新型コロナウイルス感染予防策を含む)	

1)、感染予防対策として、園の出入り口にアルコール消毒液を設置し、保護者や来園者には、感染予防対策の協力をお願いする。また、職員の検温とマスク着用を徹底し、自己の体調管理を促す。園児には、各家庭で毎朝検温し、健康状態をアプリ内で申告してもらうようにする。	A
２)，国や自治体の要請を受け、状況を見ながら保育室への入室制限などの措置を取り、園の行事や、園外活動などの外部との接触が見込まれるものは必要に応じた制限を園独自に設け、状況に合わせた判断をする。	A
３)，子どもたちや保護者、職員同士への感染を未然に防ぐためにも、保育者としての自覚ある行動を呼びかける。	A

★全体評価…A

評価自体は、A 評価となるが、各項目の中に、園としての対応に不十分な点や改善点もあり、再度検討の必要がある。不審者対応の訓練については、様々なケースを想定しての訓練や、現在のマニュアルの再検討が課題となる。また、外部評価として第 3 者評価の導入も課題としてあげられる。